



予選レポート

2022/8/20 Rd-7 モビリティリゾートもてぎ

天候：曇り 気温：27℃ 出走台数：21台

2022 シーズン真夏のツインリンクもてぎ戦は、初の2連戦で開催される。

ただでさえ酷暑時期でドライバー、チームスタッフ、レースカーにとっても、シーズンで最も過酷なレースだが、土曜日、日曜日共に予選と決勝が行われるため、体調管理に加え、車とタイヤの熱対策も重要となるだろう。

第1予選 A組大津選手はコースオープンと同時にフロントタイヤのスクラブとチェックランを行う。残り5分を切ったタイミングで、リアに新品タイヤを装着してコースイン。コーナー入り口でのバランスが十分ではなく3番手で第2予選へ進む。

第1予選 B組牧野選手も、大津選手同様にフロントスクラブ、リア新品のタイヤでアタックへ。各セクターでベストタイムを更新するも、第2セクターでややタイムロスし3番手で第2予選へ進む。

続く第2予選、牧野選手は計測1周目、大津選手は計測2周目にアタックと戦略を分ける。牧野選手は残り4分半前までタイミングを待ちコースに入る。セットアップ修正やタイヤの状況も問題なく、第1予選の自己タイムは更新したものの5番手となる。

大津選手は、タイミングを待ちコースインしたが、タイヤウォームアップグループの渋滞に入ってしまう思うようにタイヤをウォームアップできないままに、計測2周目にアタック。本来のグリップを得られず11番手で終える事となった。

5：牧野選手 予選5位 (第1予選B組3位 第2予選5位) HONDA 勢4位

第1予選の感触も悪くありませんでしたが、第2予選に向けてタイムアップを想定し若干セットアップとアタックタイミングを変えました。セットアップもタイミングも良く、第1予選のタイムを更新することもできましたが、上位グループに比較してタイムの上げ幅が小さく5位となってしまいました。もてぎはオーバーテイクが難しいコースなので、まずはスタートに集中し、レース戦略とチーム総合力で上位を目指します。

6：大津選手 予選11位 (第1予選A組3位 第2予選11位) HONDA 勢6位

第2予選では、計測2周目アタックグループの渋滞に入ってしまう、思うようにタイヤコンディションをベストな状態にできませんでした。第1予選の感触が良かったので上位で終える自信がありましたが、臨機応変に戦略を変える必要がありましたね。

この部分は明日の第8戦予選に向けて修正して臨みます。

午後の決勝には気持ちを入れ替え、しっかりスタートを決めてしぶとく走り切ります。



決勝レポート

2022/8/20 Rd-7 モビリティリゾートもてぎ

天候：雨 気温：25℃ 出走台数：21台

土曜日に Rd7、日曜日に Rd8、の 2 レース制で開催される第 6 大会モビリティリゾートもてぎ戦。予選終了から息つく暇なく、決勝レースが行われる。

スタート前、8 分間のウォームアップ走行で、スタート練習やセットアップの確認を行い、スターティンググリッドで最終調整に余念のない両ドライバー。しかし、スタートまで 15 分というところで雨が降り始め、雨粒はどんどん大きく激しくなる。

レースは WET 宣言が提示され、またスタートはセーフティカー（以下 SC）先導によるスタートとなった。

危なげないスタートでポジション維持の牧野選手だが、先行車の巻上げるウォータースクリーンで視界を阻まれ序盤はペースが上がらない。

大津選手は 11→12→11→10→9 番手と、中団グループで目まぐるしく順位を入替つつもポジションを上げてゆく。

レース中盤、ペースを上げた牧野選手は、上位 3 台との差をじりじりと詰めるが、雨のもてぎではオーバーテイクが難しくトップ 4 台の膠着状態が続いていた。

レース終盤、雨脚の強くなった残り 10 周目に発生したスピン車両のため SC 導入となる。残り 7 周で再スタートが切られ、表彰台フィニッシュを目指す牧野選手だったが、ポジションアップならず 4 位。大津選手は増えた雨量の中激しい 9 位争いを展開するも、一つポジションを落とし 10 位のポイント圏内でレースを終えた。

5：牧野任祐 選手 4 位 HONDA 勢 3 位

スタート前に雨が降始め、SC スタートとなりました。雨のもてぎで SC スタートでは、ポジションを上げるのはとても難しく、ライバルのトラブルもあり 4 位でレースを終えました。少ない雨量に合わせたセットでスタートしたので、レース中盤の雨量の少ない場面ではトップタイムで周回できましたが、後半の雨量が増えた場面ではペースアップできずトップ 3 には届きませんでした。

明日は午前中の予選から雨という予報もあります。先ず予選を上位で終えることを目標に、今日の結果を検証し、明日のレースで挽回したいと思います。

6：大津弘樹 選手 10 位 HONDA 勢 5 位

雨量はあまり強くないか、後半は雨がやんでしまうことも考えて、セットアップを修正しスタートしました。想定通り、雨量の少ない状況では競争力があつたのですが、終盤雨量が増えるとペースが落ちてしまい、10 位で終えるレースになってしまいました。

2 連戦となる明日も雨天の予報です。

予選とレースに向けてチームとよく相談し、しっかり準備して臨みます。